

鳥取大学医学部ウイルス学分野 景山誠二教授が あなたの疑問に答えます！

私たちの生活に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症。既存のウイルスに代わり“変異株”と言われる株が各国で流行し、鳥取県にも入ってきています。“変異株”とは何か、ワクチンの効果はあるのか、など、県の新型コロナウイルス感染症対策本部のアドバイザーを務める鳥取大学医学部の景山教授に教えていただきます。

① 変異株

Q ニュースでよく聞く変異株とは何ですか？

A 生き残りをかけて、ウイルスは常に変異する

もともとウイルスは、自ら拡散し生き残っていくため、新しいコピーを作りながら常に変化し続ける性質を持っています。このため、新型コロナウイルスには多くの変異株が存在します。最初は武漢株だったものが、変異し、ヨーロッパ型が世界の主流になりました。みなさんが最近よく耳にする変異株には、アルファ株(所謂イギリス型)、ベータ株(所謂南アフリカ型)、デルタ株(所謂インド型)などがありますね。

Q 変異株は感染しやすい？

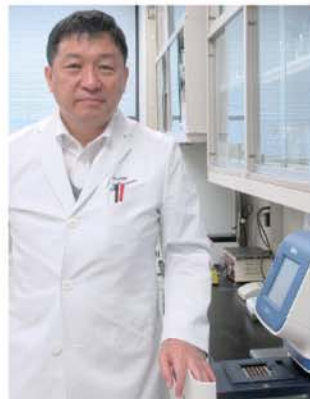
A ヒトの細胞に入る鍵を得たウイルス

アルファ株のように、変異株の中には、ヒトの細胞にウイルスが入り込みしっかりと結びつくよう、たんぱく質の突起部分が変化を引き起こしているものもあります。このような変異株は、変異する前の株と比べて70パーセント程度感染しやすいと考えられています。関西ではこのウイルスが主流となっており、鳥取県内でも検出されています。また、このウイルスは若い方も重症化しやすくなっています。

Q “二重変異株”とは何でしょうか？

A 複数の変異株が一つの細胞に入り込んで生まれた“二重変異株”

インドのゲノム研究者が、21万件のうちの11件という極めて少数の検体から、複数の変異株の特徴を併せ持つ株を発見しました。インドで多くの死者がでるなど猛威を振っているのがこのウイルスで、国内でも検出されています。このような株を“二重変異株”と呼ぶ人もいます。つまり、「ウイルス表面の突起の重要な場所が2つ変わった株」ということです。



PCR検査機器の前で

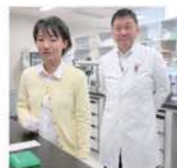
② 変異株への対策

Q 感染しやすい、または、重症化しやすいと言われ、怖いイメージのある変異株ですが、どのような対策が必要ですか？

A 感染者の増加が変異株を生み出す

感染者が増えると、様々な種類のウイルスが一つの細胞に入り込む機会が増えます。そのようにして生まれた変異株には、アルファ株やデルタ株のように、強い感染力を持ち、ヒトにとって脅威となるものも出てきます。“変異株の坩堝(るつぼ)”とならないために、感染者の数を抑えることが重要です。

ヒトへの影響の強い変異株の流行を受け、これまでより厳しい対策をとっていただく必要があります。「密」の回避、会話の際は屋外でもマスク着用、手洗いの励行、家族以外との会食を避けるなど、厳格に守ってください。



「県の依頼で、検体に含まれるウイルスの遺伝子配列を決定しています。」

③ ワクチン

Q ワクチンについて教えてください。

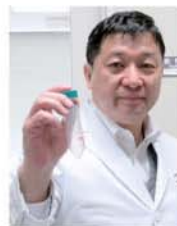
A ワクチンで感染を制御

世界で使われているワクチンには、数種類ありますが、いずれもメリットがデメリットを上回ると言われています。現在、わが国で各自治体に配布されているのはファイザー社のものですが、治験レベルでは、2回の接種でほぼ感染が抑えられ、現在のところ変異ウイルスでもその効果が認められています。基礎疾患のある方は主治医と相談の上での接種をお勧めします。

Q なぜ日本ではワクチンが不足しているのですか？

A ワクチンを輸入に頼る日本

ワクチン接種の割合ですが、残念ながら、日本は先進国で最下位に留まっています。これは、他の先進国と異なり、日本では財政上の制約から大学で十分な基礎研究ができず、また製薬分野の裾野も広くないことが原因で、輸入に頼らざるを得ないことも原因の一つです。御心配かと思いますが、ワクチンは、出回り始めたら十分な量が輸入されるのではないかと予測していますので、冷静にお待ちください。



「医学部では、病院実習の学生にPCR検査を受けてもらっています。」

※WHO(世界保健機関)は、令和3年6月1日(日本時間)、それぞれの変異株の呼称を決定しました。これにより、これまで一般的に発見国の名称で呼ばれていた変異株は、ギリシャ文字で呼ばれることになりました。(例：所謂イギリス株 → アルファ株、所謂南アフリカ株 → ベータ株、所謂インド株 → デルタ株)

圓日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



表紙写真

タイトル:メルヘンの世界

撮影者:日南町 石川 哲嗣

撮影者コメント:林の中は光のハーモニー、まさに幻想的なメルヘンの世界です。イルミネーションの如く、また多い日には光のじゅうたんの如く。まさに圧倒される素晴らしい光景です。光の正体は姫ホタル。撮影地は日南町福万来。地元の皆さんの熱意で環境保全がなされており、6月末から7月初めには川辺の源氏ホタルとのコラボも楽しめます。同じ場所で姫と源氏が同時に観られるのは全国的にも希だそうです。